# 令和5年度 道徳教育 全体計画

高等学校 四南 69 全 課程 普诵 科 番号

#### 学校教育目標

「永えに地域のシンボルたれ」をモットーに、平和的な社会の創造 者としての自主・自立の精神に満ちた資質を培う。

## 重点目標

- 1 自らが希望する進路を実現するための学力向上の取組と進路指導
- の充実 2いじめ・暴力を許さない、一人ひとりの人格を尊重した生徒指導 の堅持

- の壁符 3本校の特性に対応したコース制カリキュラムの充実 4学校の活力の源泉となる生徒会活動とクラブ活動の更なる活性化 5開かれた学校づくりと、家庭・地域との連携・協力 6生徒育成方針に沿った生徒に身に付けさせたい資質・能力を高め る教育活動の実践

### 道徳教育の重点目標

生徒が多様な価値観にふれることで、豊かな人権意識を 育むことができるように、HR活動及び総合的な探究時間 を中心として、教科学習、特別活動であらゆる場面で取り

組む。 また、以下の項目について学校生活において実行させる ように生徒の人権意識を能動的に涵養する。

- ・自己の在り方・生き方を主体的に模索する中で、他者と個性を認め合う適切なコミュニケーションを通わせること。 ・「いじめ」をしない、させない、見逃さない。 ・SNS等による他者を攻撃するような誹謗・中傷等をさ
- せない。

学年	目標	キャリア教育	各教科			
字牛			ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等		
1年	学校教通生の名の共の名の共の名の共の名の共の名の共の名の名の共の名の名の共の名の名の共の名の名の代表の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の	上級学校への見学や職学校への見学や職実とでもでいます。 での講演版を当める にない。 ○ 当動に路探究 ○ コース選択	学校で参加する。 学校で参加する。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、かける。 で、からい。 で、からい。 で、。 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	学校の書では、 学校の書では、 を があるない、 の活でると、 の活がまたが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のにあるなが、 のには、	国語	文章読解を通して、言葉による見方・ 考え方を働かせ、他者との伝えあう力 を高め、思考力や想像力を養い、道徳 的心情や判断力を育む。
					地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究 することによって、社会の在り方や人 間としての生き方について選択や判断 する力を育む。
					公民	持続可能な社会づくりの観点から地球 規模の諸問題や地域課題を解決しよう とする態度を育む。
					数学	数学的活動を通して、数学的な見方・ 考え方を働かせ、一見困難な課題に対 しても粘り強く考え、取り組む態度を 養う。
	学校内外での諸活 動を通して、自律	自己実現をはかる ため、各自の希望	諸活動に主体的に 取り組み、他者を	生徒会活動を引き継ぎ、学校全体を	理科	自然の事物・現象を探求する活動を通 して、人間の尊厳や環境問題への意 識、自然と共存していくための態度を 育成する。
2年	動的人方では、 の大力	に合わせに に合わせに さかり、 さいでは でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	無しながきます。 す重を表したが積重といるがは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	明リートで の自覚をとなった。 ではいる。 では、 ではいる。 ではい。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	保健体育	保健(知識)体育(行動)の授業を通して、他人に迷惑をかけない、物を大切に扱う等の責任感を養い、一人一人の違いを大切によう等の責任感を養い、一人一人の違いを大切にする態度を身につけさせる。
					芸術	芸術のよさや美しさを深く味わい、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語を通じて、異文化を理解し、相 手を思いやる姿勢を育てる。 また、自ら主体的にコミュニケーショ ンをとる姿勢を育てる。
					家庭	生活課題を主体的に考え解決する力、 社会の一員として生活の充実向上を図 る能力と実践的な態度を育てる。
3年	進路、計画を記しての職決でという。 は、計画をに、しまる。 は、は、しまる。 は、は、しまる。 は、は、しまる。 は、しまる。 は、しまる。 は、しまる。	多現をめう構で○○課題 といる。 をはいると を はいて と は いを と れ し を と 、 後 会 し を と 、 る ら き ま っ る ら き と っ る ら り と の の 。 と る ら ら と の の と の と の と の の と の と の と の と の	学動組すいます。 学動組すいます。 のにを構るついます。 のまたる人通学 を習情報 がは、一自、態権学 でも、一自、態権学 でも、一角である。 の重要学 でも、一角である。 の重要学 でも、一角である。 の重要学 でも、一角である。 の重要学 でも、一角である。 のでも、	社人党尊諸取地諸む。 と成るな特し題組むたい主な体を構成といれてない主な体をものでを重課組む方に というと取のの運の のの運の のの運の を関係して、し のの運の のの運の のの運の のの運の を関係して、し のの運の のの運の のの運の のの運の を関係して、し のの運の のの運の のの運の ののでが のので のので のので のので のので のので の	福祉	福祉の見方・考え方を働かせ、人間の 尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可 能な福祉社会の発展を担う職業人とし て必要な資質・能力を目指す。
					商業	人と人の信頼関係から商業取引が成り 立っているという商的慣習 (規範)を 簿記を中心とした授業から学習する。 また、反道徳的な悪徳商法や詐欺にも 触れ、道徳的価値観と理解を深めさせ る。
					情報	SNS等で、誤った情報や他人の権利、人格を傷つける情報を発信することのないよう、良心的に情報を活用する態度を身につけさせる。
					総合的な 探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体 的・協働的な取組をとおして、新たな 価値を創造し、よりよい社会を実現す る態度を養う。

### 家庭・地域 との連携

・家庭と密に連携をとり、学校と一体となって生徒の人権意識が高められるように協力を得る。特にスマホの使用方法 については家庭での使い方なども含め学校の方針に協力いただく。 ・コースでの学びやクラブ活動において、地域の方々と交流する中で、生徒の自己有用感を高められるようご指導いた だくとともに、地域の中での自分の在り方生き方を学べるようご協力いただく。